



土木事業本部 ICT 推進部の大田 清市様と平尾 健二様にお話を伺いました。

導入の背景：

当社では各現場での内製化を前提に、ドローン測量を導入しましたが、トンネル工事を行うための山の斜面形状を計測する業務が多く、その高低差のため、標定点の計測も GNSS 機器では困難と考えていました。しかし、直近、測量頻度が増えてきたため、標定点の計測作業量や時間を少しでも減らしたいと考え、AEROBO マーカーを試しにレンタルしてみました。

現場への導入までの道筋と導入効果：



現場で実践：

計測作業は現場の負担にならないように行う必要がありましたが、AEROBO マーカーの操作は本当にボタン一つなので、経験の有無に関わらずその場で説明してすぐ使えました。レンタルは計5回しましたが、起工・出来高測量に使用できると判断し、まずは40個の購入をしています。（ちなみに、AEROBO マーカーとTSで同一箇所を11点計測したところ、最大誤差が45mm、平均は15mmでした。計測手法も基準も違うので、一概に比較はできませんが、ご参考までに。）

現場での工夫：

現場の谷地形筋など GNSS 衛星が届かない場所ではマーカーの使用が困難と考えられたため、事前にTSで計測して不動点にし、その他の場所はAEROBO マーカーを使用するなど、環境に応じてツールをわけています。

エアロセンスから佐藤工業様へ：

初回ご利用時、AEROBO マーカーのご評価をお伺いした際、素敵な笑顔で「軽くて使いやすいかったです！」とお言葉いただいたのがとてもうれしく、我々の原動力となっています。仕様の改良を続け、御社の全国の皆様に快癒にご利用いただけるよう精進いたします。



土木事業本部 ICT 推進部
大田様(左)、平尾様(右)